



小学校の学習は、社会人として将来自立するために基礎となる「生きるための力」を育みます。学校と家庭の連携によって、学習内容の定着化とよりよい家庭学習の習慣化を図るために、この手引きをよく目にする所に貼っていただき、お子様の学力向上にお役立てください。

## 家庭学習とは

### 宿題 + 音読 + 自主学習

宿題・・・学校から出された課題

自主学習・・・子ども自身が自主的に取り組む課題

## 家庭学習のねらい

- ①学習内容を定着させる。→学習の基礎づくり
- ②学習習慣を身に付けさせる。→継続する力の育成
- ③自発的な学習意欲を伸ばす。→自律と自立

## 家庭学習時のポイント

- ①毎日続けて
- ②時間や場所を決めて
- ③テレビやゲームを消して
- ④机の上を片付けて
- ⑤よい姿勢で

筆箱の中は、シンプルに。  
 ①鉛筆4～5本  
 ②赤鉛筆（赤ペン）1本  
 ③消しゴム1個  
 ④のさし1本  
 ⑤スームペン



## 学力アップは規則正しい生活から

- 早寝・早起き・朝ご飯・徒歩通学
- 帰宅したらすぐに宿題
- 自分で翌日の準備
- テレビやゲームは時間を決めて

## 家庭学習支援のお願い

- ①学習できる環境を整えてください。
- ②宿題や音読の内容を確認し、評価やチェックをしてあげてください。
- ③自分から取り組みたら、しっかりほめてあげてください。




## 生活の中での望ましい環境

- いろいろな本を読む。
- 辞典や地図を身近に置く。
- ニュース番組や新聞を見る。
- 自然や生き物と触れ合う。

	1・2年生 習慣づけ	3・4年生 自主性と持続力	5・6年生 目標設定力と持続力
	目標時間1年生20分以上 2年生30分以上 宿題：自主学習＝8：2 ※1年生は宿題が100%でよい。	目標時間3年生40分以上 4年生50分以上 宿題：自主学習＝7：3 ※少しずつ自主学習を増やす。	目標時間5年生60分以上 6年生70分以上 宿題：自主学習＝5：5 ※自主学習の時間を長くする。
子ども段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やる気がある。</li> <li>・一人で学習を進めるのは困難。</li> <li>・何でも知りたがる。</li> <li>・ほめてもらいたがる。</li> <li>・集中できる時間が短い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差が大きくなってくる。</li> <li>・自立心が芽生えてくる。</li> <li>・急に学習内容が難しくなったと感じることがある。</li> <li>・ほめられるとやる気が増す。</li> <li>・取り組みが雑になりがち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己決定できるようになる。</li> <li>・自己理解ができる。</li> <li>・得意不得意がはっきりしてくる。</li> <li>・心身共に大きく変化し、アンバランスになることもある。</li> <li>・自己肯定感が低くなりがち。</li> </ul>
望ましい学習の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で学習する習慣をつける。</li> <li>・宿題や音読は必ずする。</li> <li>・よい姿勢を保つ。</li> <li>・鉛筆を正しく持つ。</li> <li>・習った文字を使って正しく書く。</li> <li>・間違えたところはやり直す。</li> <li>・進んで本を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学習に取り組む。</li> <li>・自ら学習する内容を見つける。</li> <li>・自分で答え合わせをして間違いに気づき、やり直しをする。</li> <li>・興味を持ったことは辞書などで調べる。</li> <li>・様々な分野の本を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を持ち、計画を立てて、その通り実践する。</li> <li>・学び方を考え、工夫する。</li> <li>・45分以上集中して机に向かう。</li> <li>・分からないことはそのままにせず調べる。</li> <li>・知識を得たり心を豊かにしたりするために本を読む。</li> </ul>
お願い	<b>学習環境づくり</b> ・学習したことの確認を一緒にしてあげてください。	<b>見届ける</b> ・同じようなつまずきをしていないか確認してあげてください。	<b>見守る</b> ・学習内容に偏りがいないか確認し、苦手なことにも取り組ませてください。

# 各学年で身に付けておきたい主な学習内容

※□にチェックして、理解できているかを確認してみてください。

1年生	3年生	5年生
<p>□ひらがなの読み書き □カタカナの読み書き □既習漢字 80 字の読み書き □助詞（は・を・へ）や促音（っ）・撥音（ん）・拗音（ゃ・ゅ・ょ）・長音（伸ばす音）を適切に使う □句読点（。・、）やかぎ（「 」）を適切に使う □主語と述語の関係をつかむ □たし算とひき算（+、-、=） □100 をこえる数（一の位、十の位） □時計（時、分）</p> <div data-bbox="81 869 520 1048" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>どの学年の教科書にも、後方にまとめや大切なキーワードが掲載されています。</p> </div> 	<p>□既習漢字 200 字の読み書き □ローマ字の読み書き □修飾語 □国語辞典の使い方 □敬体と常体 □ことわざや慣用句 □一万をこえる数（一万の位、億、不等号、数直線） □棒グラフ □わり算（÷、あまり、わられる数、わる数） □単位の関係（km, g, kg, t, 秒） □円と球（コンパス、中心、半径、直径） □分数（等分、分子、分母、等号） □三角形（二等辺三角形、正三角形、角、頂点、辺、三角定規） □小数（小数点、<math>\frac{1}{10}</math>の位、整数） □小数のたし算とひき算 □かけ算の筆算 □地図記号 □方位</p>	<p>□既習漢字 193 字の読み書き □敬語 □話し言葉と書き言葉 □体積（容積、内のり、kL, m<sup>3</sup>, cm<sup>3</sup>） □比例 □小数のかけ算とわり算 □合同 □整数（偶数、奇数、倍数、公倍数、最小公倍数、約数、公約数、最大公約数） □分数のたし算とひき算（約分、通分） □図形の面積（底辺、高さ） □平均 □単位量あたりの大きさ（人口密度） □分数倍 □割合（くらべる量、もとにする量、百分率、%、歩合、割、分、厘） □円と正多角形（円周率、円周） □帯グラフと円グラフ □角柱と円柱（立体、底面、側面、曲面） □速さ（時速、分速、秒速） □日本の環境や産業の特色 □地球儀の見方</p>
2年生	4年生	6年生
<p>□既習漢字 160 字の読み書き □表とグラフ □時刻と時間（正午、午前、午後） □たし算とひき算の筆算（くり上げる、くり下げる、たされる数、たす数、ひかれる数、ひく数） □かさ（L, dL, mL） □（ ）を使った式 □かけ算（倍、×、かけられる数、かける数、九九） □三角形と四角形（直角、長方形、正方形、直角三角形、辺、頂点） □長さ（単位、直線、cm, mm, m） □1000 をこえる数（&lt;, &gt;, 百の位、千の位、万） □箱の形（面） □分数の意味（<math>\frac{1}{2}</math>, <math>\frac{1}{4}</math>）</p>	<p>□既習漢字 202 字の読み書き □漢字辞典の使い方 □角（度、角度、直角、分度器） □折れ線グラフ □一億をこえる数（一億の位、一兆、和、差、積） □垂直・平行（台形、平行四辺形、ひし形、対角線） □小数（<math>\frac{1}{100}</math>の位、<math>\frac{1}{1000}</math>の位、小数第1位、小数第2位、小数第3位） □小数のたし算とひき算 □わり算の筆算（商） □割合 □計算の順序 □面積（a, ha, cm<sup>2</sup>, m<sup>2</sup>, km<sup>2</sup>） □概数（約、以上、未満、以下、概算、四捨五入、切り上げ、切り捨て） □小数のかけ算とわり算（小数倍） □分数（真分数、仮分数、帯分数） □直方体と立方体（平面、見取図、展開図） □47都道府県の名称と位置 □地図帳の見方 □徳島県の特色</p>	<p>□既習漢字 191 字の読み書き □線対称と点対称（対称の軸、対称の中心） □文字を使った式（xの値、yの値） □分数のかけ算とわり算（逆数） □資料の調べ方（平均値、最大値、最小値、範囲、ドットプロット、中央値、最頻値、代表値、階級、度数分布表、度数、ヒストグラム、柱状グラフ） □円の面積（おうぎ形） □立体の体積（底面積） □比（比の値） □拡大と縮小（拡大図、縮図、縮尺） □比例と反比例 □歴史上の事象や人物 □政治の仕組み □世界の主な国々の特色</p>

